

特定非営利活動法人 防災千葉
千葉市中央区本町1-6-24（渡辺コーポ102号）
E-mail bosai@bosai-tiba.jp
Homepage <http://www.bosai-tiba.jp>
Fax 043-301-3820

■ 令和4年度通常総会を開催

特定非営利活動法人防災千葉は、令和4年7月19日プラザ菜の花において、50名の会員の出席のもと、令和4年度通常総会を開催しました。この総会には県土整備部長の池口正晃様をはじめ県土整備部の幹部の皆様、及び建設技術センター理事長の北岡聰様に来賓として御出席いただきました。

開催にあたり、まず増岡理事長から挨拶がありました。

その中で、「令和3年度の活動を振り返ると、昨年8月から本年にかけて実施された歩くパトロール、11月には県土整備部主催の震災対策訓練への参加、また、同月には地震・津波をテーマにした出前授業を開催いたしました。

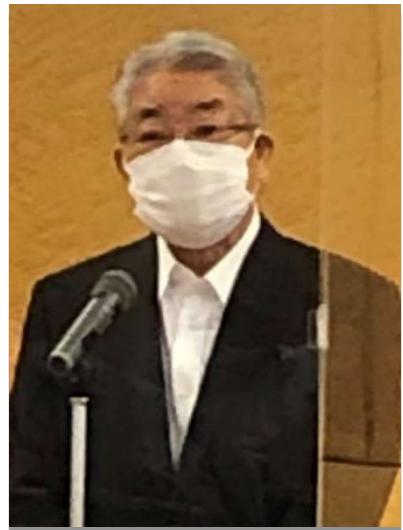
そして本年1月に予定していた防災関係の技術研修会はコロナの影響により残念ながら中止となりましたが、

6月の土砂災害防止月間では、連日の猛暑の中、あるいは雨の中、多くの会員の皆様方には崖点検を実施していただき、大変感謝しております。

諸活動のなかでも地震津波に関する出前授業は、平成25年度から南房総市の小学校を皮切りに太平洋沿岸の各地の学校で出前授業を続けてまいりましたが、昨年11月には東日本大震災で甚大な津波被害を受けた旭市内の3つの小学校で開催することができました。スタートから9年になりますが、これまで50校以上の学校を訪れ、4千名を超える子供たちや保護者の方に受講していただきました。“自分の命は自分で守る”このことの大切さや津波に遭われた方の体験談を伝えてまいりました。防災学習の一助としてお手伝いできたのではないかと思つておりますとともに、NPO活動として一定の役割を果たせたのではないかと考えております。

私どもは県内15地域で、それぞれの地域会員が担当する土木事務所の職員の方と連携・協働して、地域の防災に資する諸活動を行っております。地域によりましては会員数の多寡や年齢構成により活動の制約を受けることもあると思いますが、行政の皆様のご理解をいただきながら引き続き意見交換会などを通じて、円滑で実効性のある活動に繋げてまいりたいと思っています。

当会も本年で24年目を迎えました。会員数は減少傾向にあるものの237名と全国でも第3位の規模となっておりますが、一方では近年の高齢化に伴う実動会員数の減少という現実的な対応をすべき課題も抱えているところです。息の長いNPO活動を続けていくためにも、身の丈にあった着実



増岡理事長



池口県土整備部長



令和4年度総会の状況

な事業活動を柱におき、新規事業の発掘を含め、同時に経営的な面からも収益事業への取り組み方、また、経費等の見直しにつきましても精一杯取り組んでいく所存でございます。」との話がありました。

来賓を代表し県土整備部長の池口 様からは、「着任して7月15日で2年目になりました。新型コロナ感染拡大の影響により、新技術を活用した防災対策などについて、皆さんと意見交換が出来ずに残念に思います。NPO防災千葉は、その前身である千葉県砂防急傾斜地ボランティア協会の発足から本年で24年目を迎えると伺っております。歩くパトロール、土砂災害危険箇所点検、出前授業、防災関係の技術研修会の開催など、日頃から防災活動に御尽力いただいていることに敬意を表するとともに、感謝申し上げます。

県土整備部といたしましては、河道拡幅、護岸整備などの河川改良、小規模河川における危機管理型水位計・監視カメラの設置などのハード整備にあわせて、部内の災害対応の指揮命令系統を明確化するという意味で、県土整備政策課内に今年度から災害対策担当課長を置き、体制の強化を図っているところです。

私どもとしましては、皆様が長年培われた知識や技術力を生かして、土砂災害危険箇所点検などの機会を通じて、若い職員に直接御指導いただけることを大変有難く思っております。今後も継続的な活動をお願いします。」とのお話がありました。

議事は令和3年度の事業報告、収支決算及び令和4年度の事業計画（案）、予算（案）、旅費に関する規定の改定の5議案がすべて承認されました。

■ 令和3年度事業報告（R3.7.1～R4.6.30）

令和4年度通常総会で承認された令和3年度の「事業報告」は下記のとおりです。

（令和4年度の「事業予定」は4ページに記載しています。）

通常総会	令和3年7月15日 プラザ菜の花にて開催。 出席者209名（内訳：本人出席33名、書面表決113名、表決委任63名）。 令和2年度事業報告及び収支決算報告、令和3年度事業計画（案）、 収支予算（案）及び役員の選任（案）が承認された。
役員会・理事会・ 事務局会議	役員会は1回、理事会2回、事務局会議は6回開催した。
あるくパトロール	令和3年8月3日～令和4年3月1日 県管理の道路を対象に県職員と協働であるくパトロールを実施した。 13土木事務所で実施され、当NPOから延べ39名が参加した。
会報の発行	会報（38～39号）を会員及び県の関係機関、外郭団体等に配布した。 38号（令和3年9月1日発行）700部、39号（令和4年3月1日発行）700部。
防災訓練	令和3年11月5日 県土整備部震災訓練に参加。（15土木事務所管内） 県と締結している「災害時における業務協力に関する協定」に基づき、県管理施設に係る情報伝達訓練等に当NPOから延べ51名が参加した。
出前事業	「語り継ぐ災害 地震津波災害」を旭市の3校で実施した。 (実施年月日・場所・対象学年・参加児童数は下記の通り)。 ・ 令和3年11月5日 旭市立三川小学校 5, 6年生 62名 ・ 令和3年11月11日 旭市立富浦小学校 4, 5, 6年生 85名 ・ 令和3年11月30日 旭市立矢指小学校 5, 6年生 41名

防災関係建設技術研修会	令和4年1月「プラザ菜の花」にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染状況を鑑みて中止した。
令和3年度砂防ボランティア 全国のつどい	令和4年6月1日和歌山県田辺市において開催され、2名が出席した。
土砂災害危険箇所点検	令和3年6月～7月に県、市町村の防災担当者等と協働して、全土木事務所管内で急傾斜地危険箇所846箇所の点検を実施した。 同様に令和4年6月に全土木事務所管内で点検を実施した。
「関東ふれあいの道」の パトロール	令4年3月「九十九里の砂をふみしめて歩く道」(一宮町)のパトロールを予定したが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて中止した。

■ 事業紹介（出前授業：語り継ぐ災害「地震津波災害」）

九十九里外房地域は過去に大きな地震津波災害を受けてきた地域です。

そこでこれまでの地震津波災害、東日本大震災で津波にあわれた方の体験談、そして強い地震の揺れがあつたらどのように対応するか、について子供たちにわかりやすく説明し伝えることにより防災対策への関心を育み手助けできるよう、主に小学校高学年生を対象に出前授業を実施してまいりました。

平成25年度から実施してまいりました出前授業は、令和3年度までに南房総市から旭市までの小中学校で実施し、終えることができました。今後は開催要請が有れば対応してまいります。

また、今年度からは新たな事業として、これまで整備された土木施設等を調査し現地見学を行いながら整備された経緯等をこれから時代を担う若手技術職員にも伝承していくことを目指す「土木遺産調査伝承（試行）」を実施してまいります。

＜出前授業：語り継ぐ災害「地震津波災害」の開催状況＞

年 度	開催市町村及び対象	受講者数
平成 25 年度	南房総市（南小学校（4校合同）、健田小学校（5校合同））	219 名
平成 26 年度	南房総市（三芳小学校（3校合同）、南三原小学校、三芳地区防災研修会） 館山市（船形小学校（2校合同）、北条小学校（3校合同）、館山小学校（5校合同）） 鴨川市（鴨川小学校）	801 名
平成 27 年度	南房総市（三芳小学校）、鴨川市（小湊小学校）、勝浦市（勝浦小学校（6校合同）） 長南町（長南小学校）、旭市（旭市シニアカレッジ）	364 名
平成 28 年度	御宿町（御宿小学校）、いすみ市（岬中学校） 一宮町（東浪見小学校、一宮小学校）白子町（南白亀小学校）	766 名
平成 29 年度	長生村（高根小学校、一松小学校）、白子町（関小学校、白潟小学校） 九十九里町（豊海小学校）、山武市（蓮沼小学校）	762 名
平成 30 年度	九十九里町（九十九里小学校、片貝小学校）、横芝光町（白浜小学校） 匝瑳市（野栄中学校）	514 名
令和元年度	横芝光町（上堺小学校）、山武市（縁海小学校、鳴浜小学校、大正寺） 旭市（飯岡小学校）	461 名
令和 2 年度	匝瑳市（八日市場第一中学校）	99 名
令和 3 年度	旭市（三川小学校、富浦小学校、矢指小学校）	205 名

* (受講者数：児童・生徒、保護者等)

* (NPO 防災千葉の事業年度は 7 月から翌年 6 月まで)

NPO防災千葉の組織（令和4年7月19日現在）

役員

理事長	増岡 洋一	理 事	大野 二三男	相談役	小林 宗平
副理事長	鶴岡 春美 渡邊 芳敏		木邊 實 並木 博史		市川 慎一 佐藤 正芳
		監 事	山村 繁喜 大湊 一文		

事務局員

事務局長	土屋 謙	事務局次長	—		
	総務部	企画部	事業部	広報部	会計
部長	平林 利夫	鯉渕 彰	根本 嘉生	渡辺 幸男	松田 善典
部員	木邊 實	塩屋 龍一郎	田中 俊二	小高 千弘	五十嵐 隆夫
	御園生 孝	高谷 幸雄	前田 善信	石橋 喜久雄	
	吉田 良治	鈴木 邦秀	秋葉 利信	大野 敏夫	
	畠山 正夫	柴田 利雄	湯田 尚登	水垣 浩	
	大塚 和裕	石井 光男	滝浪 善裕	山本 篤	
	米良 信雄	中橋 正	村根 紀雄		
	平野 秀明	山口 浩	御園 直樹		
		長谷川 真澄	橋本 大義		

地域幹事・副地域幹事

地域名	地域幹事	副地域幹事	地域名	地域幹事	副地域幹事
千葉	松田 善典	田村 規道	海匝	大湊 一文	渡辺 幸男
葛南	柴田 利雄	滝浪 善裕	山武	勝股 稔	塩屋 龍一郎
東葛飾	山村 繁喜	石井 直樹	長生	山岸 浩一	鵜沢 覚
柏	高橋 龍悦	伊藤 洋二	夷隅	中村 正美	鈴木 邦秀
印旛	宍戸 勝美	山野 勉	安房	吉田 良治	吉田 行伸
成田	前田 善信	松木 久男	君津	村岡 春雄	長谷川 真澄
香取	秋山 文男	菅谷 佐千男	市原	水垣 浩	山本 篤
銚子	實川 常博	木内 和男			

■ 令和4年度 事業計画

- あるくパトロールの実施（8月）
- 会報の発行（第40号（8月）700部、41号（2月）700部）
- 防災訓練 県土整備部震災対策訓練に参加予定。（令和4年9月9日）
- 防災関係建設技術研修会の開催（令和5年1月頃 プラザ菜の花予定）
- 土木遺産調査伝承（試行）（令和4年11月頃）
- 「関東ふれあいの道」のパトロール（令和5年3月上旬）
- 砂防ボランティア全国のつどいへの参加（令和5年6月）
- 土砂災害危険箇所点検（令和5年6月 全土木事務所）
- 広報活動 当法人の目的である、自然災害防止および土木施設等の保全にかかる活動の広報に努める。

■会員の動向

令和4年度入会者数
10名
令和4年度会員数
(7月1日現在)
237名

賛助会員
全国治水砂防協会
千葉県支部